

しらぬか

2021. 7.21 NO.153

議云 だより

- 2 令和3年第2回定例会概要
- 5 令和3年第1回臨時会概要
- 6 一般質問9名
- 16 委員会・協議会の動き
- 19 議会の仕事調査隊

教室より議場は緊張する!!

(自糠高等学校1年生の皆さん)

契約の締結

白糠小中学校外統合事業

《外構工事 1億2,870万円》

駐車場路盤工 5,452 平方メートル、歩道路盤工 163 メートル、排水工一式、照明灯 11 基、自転車置場 1 カ所などの工事。

問 入札の方法は、指名競争入札がベストなのか。

答 一般競争入札は、金額の安さのみで落札者が決まり工事施工能力が高い業者が落札するとは限らない。仕事に信頼のおける業者を選べることから、指名競争入札が良いと判断した。

緑越明許 振内線改良工事 (その2)

《2億20万円》

工事延長 590 メートル、土砂掘削工 2万3,700 立方メートル、車道路盤工 5,580 平方メートル、排水工一式などの工事。

町道橋梁補修工事(茶路橋)

《1億120万円》

橋長(橋の長さ)、203.7 メートルの地覆打替え、高欄入替え、表面被覆工一式などの工事。

問 通行止め等の規制はどうするのか。

答 通行止めをせずに施工する計画だが、一時的に通行止めにする場合もあるので、う回路を含め周辺住民へ周知する。

公有水面埋立免許

「白糠地区水産生産基盤整備事業」の実施に伴う公有水面埋立について、町が北海道知事へ提出する意義がない旨の答申について、議決しました。

委員の任命

教育委員会委員として任命していた谷口 修氏が、令和3年7月26日に任期満了となり退任するため、後任として春田修吾氏の任命に同意しました。

条例等

一部改正

●町税条例

地方税法等の一部を改正する法律等の施行に伴う改正。

問 固定資産税は、コロナ禍を受けて据え置くとのことだが、影響額は。

答 1年間に限り増額分を据え置くという判断。影響額の積算は困難である。

●固定資産評価審査委員会条例

行政不服審査法施行令を改正する法律等の施行に伴う改正。

●白糠町スポーツ推進助成条例

令和3年6月1日から「白糠町体育協会」が「白糠町スポーツ協会」に名称を改めたことに伴う改正。

●白糠町介護保険条例

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に伴う改正。

●白糠町手数料条例

「デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律」の施行に伴う改正。

全部改正

●白糠町墓地設置及び管理に関する条例

坂の丘公苑墓地内に設置する樹木葬墓所及び合葬墓の供用に伴う改正。

お詫びと訂正



前号の表紙の目次に誤りがありました。お詫びして、訂正いたします。正しくは次の通りです。

誤) 令和2年第4回定例会概要



正) 令和3年第1回定例会概要

3年度補正予算

一般会計補正予算

補正合計 1億6,532万8千円

総額 174億5,049万3千円

●増額

新型コロナウイルスワクチン接種対策費	91,160,000円
新型コロナウイルス感染症対策費	64,738,000円
子育て世帯生活支援特別給付金事業	4,430,000円
町道維持管理費業務	5,000,000円

質疑・答弁

問 65歳以上のワクチン接種の対象は何名で、うち接種を希望し接種したのは何名か。

答 対象は3,325名で、うち80%(2,639名)の方が接種を希望された。1回目が終わりに、実際に接種を受けたのは、2,856名。

問 修学旅行が延期になったが、各学校のいまの時点での実施予定は。

答 現在のところ未定となっている。

戸籍事務の事務委託

戸籍の電算化の事務は、白糠町・弟子屈町・釧路町の3町と浜中町・厚岸町・鶴居村の3町村が、それぞれ共同運用による事務委託を行っていますが、来年4月からは、6町村での共同運用となることから、地方自治法の規定に基づき、現行の一部事務委託の廃止と新たな協議による規約を議決しました。

議員の派遣

北海道町村議会議長会主催による議会広報研修会への議員派遣を承認しました。

◆町村議会広報研修会

日時 令和3年8月23日から24日
場所 札幌市
対象 広報広聴特別委員会委員

第2回 定例会

6月9日

- ・行政報告・一般質問
- ・議会会議規則の改正(発議)

6月10日

- ・専決処分の承認(補正予算・条例改正)
- ・条例改正
- ・令和3年度補正予算
- ・戸籍事務の一部の事務委託
- ・教育委員会委員の任命
- ・公有水面埋立免許に関する意見
- ・工事請負契約の締結
- ・議員の派遣

2年度補正予算

一般会計補正予算

補正合計 3億2,717万9千円

総額 204億4,506万5千円

●増額

まちづくり基金等	848,883,000円
北海道市町村備荒資金組合納付金	500,000,000円

●減額

ふるさと納税関連	979,146,000円
繰出金	26,336,000円
その他	1,622,000円

質疑・答弁

問 ふるさと納税について、令和元年度までは諸経費を除いた残が約30%であったが、令和2年度は約42%となった経緯は。

答 返礼品の発送が令和3年度とする割合が増えたことによる。

契約の締結

白糠小中学校外統合事業

《建築主体工事 15億3,670万円》

既存校舎と屋体、武道館の内外部の改修、エレベーター棟42㎡の増築、こども園ほか2,365㎡の増築工事。

《電気設備工事 3億3,550万円》

建築主体工事に係る電灯設備、動力設備、受変電設備、発電設備など電気設備工事一式を施工。

《機械設備工事 5億2,580万円》

建築主体工事に係る空調暖房設備、換気設備、給排水設備、衛生器具設備など、機械設備工事一式を施工。

第1回 臨時会

7月5日

- ・令和3年度補正予算
- ・工事請負契約の締結
- ・議員の派遣

3年度補正予算

一般会計補正予算

補正合計 173万8千円

総額 174億5,223万1千円

●増額

道の駅しらぬか恋問建設用地 1,738,000円

議員の派遣

白糠町議会行政視察

駅舎・駅周辺整備の先進事例調査のため議員の派遣を承認しました。

日時：令和3年7月14日から15日

場所：白老町、洞爺湖町、伊達市

対象：道の駅「しらぬか恋問」移転改築及び白糠駅前広場整備事業特別委員会委員



次回の定例会は
9月中旬予定です。

行政報告

ALTの退任

●外国語指導助手（ALT）のビシラ・メーガン・エリザベスさんが7月に、スティバード・ホークス・マクスウェル・ブライアンフレデリックさんが8月に任用期間を終了し、退任することが報告されました。

スティバード・ホークス・マクスウェル・ブライアンフレデリックさん退任あいさつ（抜粋）

3年間白糠に住み、白糠町での生活に慣れてきたところだったので、この生活が終わってしまうとは信じられません。

何よりも楽しくて幸せだったのは、子どもたちと一緒に英語を勉強したり、遊んだり、笑ったりしたことでした。特に、白糠小学校、白糠中学校、白糠こども園に行って子どもたちの笑顔を見ることを、いつも楽しみにしていました。

私は、町の皆さんから学んだことを、しっかりと生かすために、これから、更に努力していきます。そして、必ず、成長した姿を、皆さんに胸を張ってお見せできるよう、頑張っていきます。



マックスさん

ビシラ・メーガン・エリザベスさん退任あいさつ（抜粋）

白糠町での3年間、本当に貴重でかけがえのない時間を過ごさせていただきました。

私は主に、茶路小中学校で子どもたちに英語を教えることを通して、子どもたちからたくさんの感動と喜びをもらうことができました。

8月から岩見沢市の国際交流員として、働くことが決まっております。また、同じ北海道内で働くことができることに喜びを感じているとともに、不安も正直あります。

しかし、私はこの白糠という素晴らしい場所を過ごし、学んだこと全てを生かして、新しい場所でも精一杯頑張っていきます。



メーガンさん



折出議員



立石議員



中河議員



中村議員



小野議員

議会議員として10年以上在籍し、功労のあった者として、釧路町村議会議長会より小野議員、中村議員、中河議員、立石議員、折出議員の5名が表彰を受けました。

議員表彰

問いかけ 提案する

一般質問

議員9名が21件31項目について質問しました。
※一般質問は1人90分以内で、町長・教育長に対して広く町政に関する説明を求めます。

坂本 勝雄 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・7ページ

- 1 道立広域公園に関して
- 2 栄橋通りの通学路に関して

石田 正義 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・8ページ

- 1 コープさっぽろ白糠店について
- 2 漁業振興策について
- 3 農業の振興について

福地 裕行 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・9ページ

- 1 生協白糠店の閉店について
- 2 コロナ禍騒動について

小野 キサ 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・10ページ

- 1 『交通安全』対策について
- 2 読書機会の充実について

中村 仁志 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・11ページ

- 1 町道の歩道整備について
- 2 検査費助成について

中河 敏史 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・12ページ

- 1 新型コロナウイルス感染症の対応について
- 2 コープさっぽろ白糠店の閉店について
- 3 企業誘致について

澤原 孝行 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・13ページ

- 1 高齢者生きがい事業団の事業内容について
- 2 高齢者の活動支援について
- 3 和天別地区の町道の補修整備について

山吉 公德 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・14ページ

- 1 認知症対策の推進について
- 2 成年後見制度の推進について

鎌田 民子 議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・15ページ

- 1 国民健康保険税の子ども均等割軽減の拡充について
- 2 医療従事者へ町独自の補助について

※掲載している内容は、質問者自身が要約し広報広聴調査特別委員会
が校正したものです。

一般質問



坂本勝雄 議員

問平成10年に9番目の道立公園誘致について要望調査があり、平成13年度に釧路管内市町村同意のもと本町を候補地として決定し、早期実現に向けて要望活動を継続してきた。昨年度、計画予定地として泊別地区周辺の課題や必要となる調査・検討内容の取りまとめが北海道において実施された。

答本年度は、釧路管内の市町村や関係機関と意見交換を行う協議会などを設け、地域と課題を共有しながら検討を進

問道立広域公園に関して、立広域公園の誘致を要望しているという報道であった。子育て応援日本一を実践する本町として、泊別地区に整備を求めている道立広域公園に関して、道とのこれまでの経緯と今後の取り組みについて考えを伺う。

答状況を十分に把握し対策を検討する

問栄橋を渡り高校方面に進んで行くと、両側に牧草地があり、吹雪には吹き溜まりができ、歩くのが大変だと聞く。防雪柵等の設置が必要と思うが伺う。

答栄橋から橋北方面の栄橋通りは背後地が農地となっており、降雪時や暴風時には、通学及び通行者の安全確保のため道路パトロールを行い、吹き溜まりの発生状況に応じてその都度除雪を実施している。

問栄橋から橋北方面の栄橋通りは背後地が農地となっており、降雪時や暴風時には、通学及び通行者の安全確保のため道路パトロールを行い、吹き溜まりの発生状況に応じてその都度除雪を実施している。

答栄橋から橋北方面の栄橋通りは背後地が農地となっており、降雪時や暴風時には、通学及び通行者の安全確保のため道路パトロールを行い、吹き溜まりの発生状況に応じてその都度除雪を実施している。

問栄橋を渡り高校方面に向っての街路灯が暗いとのことである。白糠小学校と白糠中学校が統合して白糠学園になるので、安心安全のために明るい街路灯に取り替えるべきと考えるが伺う。

答栄橋から白糠高校に向う歩道には、通行者の安全性を図るために防犯灯が設置されている。設置間隔が広く部分的に暗い箇所があることは確認している。

問栄橋から白糠高校に向う歩道には、通行者の安全性を図るために防犯灯が設置されている。設置間隔が広く部分的に暗い箇所があることは確認している。

答栄橋から白糠高校に向う歩道には、通行者の安全性を図るために防犯灯が設置されている。設置間隔が広く部分的に暗い箇所があることは確認している。



夜の栄橋通り



石田正義 議員

問 コープさっぽろ白糠店について

答 宅配事業、移動販売に重点を置き事業展開していくと聞いている

問 人口減少や高齢化により購買額減少、店舗閉店とコープさっぽろ白糠店より説明があったと聞く、内容について伺う。

答 5月18日執行役員の方々がお見えになり、白糠店は厳しい経営状態が続くものと分析し、閉店を決断したと説明があった。今後は、宅配事業や移動販売に重点を置き事業展開していくことである。今回の閉店にあたって、組合員には迷惑を掛けないとの話で、また、在籍の従業員は、グループ内店舗等への配置替えで対応

し、店舗の利活用はテナント等を探し、見つからない時は除去することである。

問 従業員の対応はどのように考えているのか。

答 正社員5名、パート従業員35名が就労しているが、正社員は他店舗へ配置の予定で、パートの方は、トドックや移動販売事業か、近隣別店舗での雇用を検討しているとのことである。

問 宅配事業トドックは継続されるのか

答 宅配事業や移動販売に重点を置いて事業展開していくとのことなので、継続されると判断している。

問 漁業振興としての増養殖の取り組みについて

答 前浜の活気が取り戻されるよう積極的に支援していく

問 前浜の資源が枯渇し不漁である。増養殖の取り組みの進捗状況について伺う。

捗状況について伺う。

答 漁協では、一昨年より北海道立総合研究機構水産研究本部中央水産試験場など、関連機関の協力を仰ぎながら、ホタテ貝の養殖事業の検討を進めており、来年度からでも試験を開始する予定と伺っている。

また、漁協青年部も、ヤマトシジミやエゾバイツブの養殖を模索し検討を進めている。町としても積極的に支援をしていきたいと考えている。

問 陸上での養殖の取り組みがあれば伺う。

また、道立総合研究機構水産研究本部中央水産試験場と町の漁業関係職員の間でつながりを伺う。

答 陸上での養殖については、調査をしたり協力してきたが、いろいろと条件等があつて現状は厳しい。

水産試験場とは、さまざまなデータ、ノウハウ、実績など、前浜の水温等が変つていくことを踏まえ、しっかりと指導してもらえよう連携していかねばならない。

問 漁礁や産卵礁などの状態を映像可視化する海洋調査の実施について伺う。

答 前浜の変化やこれまでにやってきたタコ産卵礁による増養殖の実態、経過を把握することもできない現状を考えた時、今後前浜が取り組まなければならぬ資源管理や新たな増養殖の検討など、将来に向けて前浜の資源を含めた現状を可視化し、今後に備えることは重要と考え、事業を実施することとした。

問 離農した農場の施設の利活用について

答 農協と相談しながら離農者に寄り添って進めていく

問 この4月に離農した農場の施設、今後の利活用について各関係者と協議されたのか。

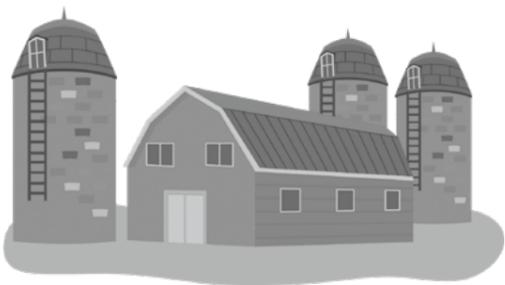
答 施設は、農協の管理のもと現在売買等の調整を図っているとのことである。

農地は、農業委員会のあつせんによりTMRセンターに集積する方向で進められてい

るとの内容である。

問 農地と施設を含めて考える必要があつたのではないかと丹頂農協に合併してから今まで、白糠町内の酪農家は何戸離農されたのか。

農協として細部にわたる営業指導が行われていたのか。
答 合併は平成18年6月。平成17年度組合員は82戸、昨年5月は35戸で47戸の減である。離農者の方に債務が残らないような形で農協の相談を受けながら、離農者の方に寄り添って進めていきたいと考える。



福地裕行 議員

問 生協の閉店は政策の貧困！

答 要因は販売形態の変化

問 コープさっぽろの3月期決算は過去最高であったにもかかわらず、閉店とのこと。これはひとえに、わが町の政策の貧困による極端な人口減少と高齢化率42%程、更には全国的にも貧しい町ゆえのエンゲル係数の高さが要因か。

答 慢性的な赤字状態を打開できなため。また販売形態の変化もあり、着実に売上げが伸びている宅配事業や移動販売に重点を置き事業を展開とのこと。
従業員は配置替えし、店舗はテナント等が見つからなければ除去の予定。

問 きれいでいごとでは済まされない。要はもうけられないだけの話。40%以上の人口減が全てを物語る。人口統計調査によると2045年には2,657人になる。これは北海道で上から8番目。また生活保護率は、全道町村で9番目。実態を認識し、危機感をしっかりと対処しなければならぬ。

白糠と小樽が閉店し、一方札幌では2店が新規開店。だが、疲弊しているわが町の経済にも、視点を当てなければ。

答 できる限りの対応はした結果、財政的に潤ってきたが、子や孫のためにしっかりと忠実にやるべきことを講じていく。

問 ふるさと納税がなければ胸を張れる状況か。
答 働く場所Ⅱ一次産業を再興させなければ人口減少は止まらない。

問 要は経済だが、魅力ある一次産業にしなければならぬ。手法と覚悟に差異がある。
答 食糧と環境のことを考えても、気候風土と資源を活かしていく。

問 例年、インフルエンザに2000万人が罹患し、1000万人が受診、8000人から1万2000人が亡くなっている。「コロナ

問 コロナ騒動は茶番

答 ワクチン接種を勧める

問 欺まんとうそに満ちた政府やNHKを始めとしたメディアは恐怖心をあおる報道ばかりであり、国民は日夜翻弄され続けている。陽性と感染、発症は違うのが医学の常識なのに単なる陽性を感染とし危機感をあおっている。
PCR検査が新型コロナウイルスを検出しているという科学論文、併せて新型コロナウイルスの存在を証明する科学論文は、世界中どこにもないことは明白である。

答 PCR検査でウイルス保有検査しているが、変異ウイルスは感染力も強いので、より一層の慎重な行動をお願いしていく。科学論文は承知していない。

ワクチン接種を推奨し、政策に基づいてワクチン接種を推奨し、しっかりと打ってもらおうが執行者の務めである。

「ナ」が世界と比して少ないのは、日本民族の免疫力の高さと清潔さである。論文のあるなしを調べてもいまいとは何事か。

論文が無ければ、ウイルスの存在を証明できない。では、なぜワクチンが必要か。
全ては茶番・うそになる。新型コロナウイルスなるものは、接触感染が主。感染症対策は、感染源・感染経路の特定が第一義。国は判かっているにもかかわらず、根拠のないことばかり言って経済をガタガタにしている。こんなことをいつまでも許す訳にはいかない。

問 論文のあるなしをなぜ国に問ひ合わせないのか。町民の命を守るのが務めだ。
PCR検査だって、インフルエンザを含む8種類のウイルス等に陽性反応を示すと云われてる。検査の母数が今後更に増えるから陽性者がいなくなることはない。
厚生労働省は、自殺・交通

問 遺伝子組換えワクチン接種は、人類始まって以来初めて人体実験だから将来のことは誰にも判らない。
64歳以下の人にはよくよく考えて判断するよう周知すべきである。
答 国を信頼し、ワクチン接種することがベターであるが、よく精査して、判断いただくように努める。

厚生労働省は、自殺・交通



小野キサ 議員

交通安全対策は

交通安全啓発の強化を図る

交通安全事故ゼロを目指し、交通安全の啓発活動を行っているが、直近の町民死亡事故など多発傾向となっている。

平成31年1月から令和3年4月末までに発生した人身事故件数と内容等について伺う。

過去3年間に町内在住者3名の死亡事故が発生した。二度とこのような事故が起きないように取り組んでいく。

Table with 4 columns: Year, Person vs Vehicle, Vehicle vs Vehicle, Total, Death Count. Data for Heisei 31, Reiwa 2, Reiwa 3.

Table with 4 columns: Age Group, 10s, 20s, 30s, 40s. Data for 2019 Jan to 2021 Apr.

交通安全対策の現況と今後の取り組みについて伺う。

町交通安全運動推進協議会を中心に交通安全母の会や警察関係団体の協力を得て、子どもと高齢者の交通事故防止に重点を置き推進している。特に、全町民を対象とした「旗の波作戦」「交通安全町民大会」の開催などや関係団体と連携した啓発活動を実施している。

本年3月、4月の町民死亡事故を受け、さらなる街頭啓発に取り組んでいる。

今後の交通事故の抑止については、関係団体及び機関と連携を図り、安全で安心なまちづくりを目指し、町民一人ひとりの交通安全思想の意識向上に向けて普及啓発に取り組んでいく。

①交通安全町民大会は年齢・性別に関係なく参加できるように、内容等を検討する。

②国道38号の事故現場付近の山側のガードレールに8m間隔で50個の反射板設置が決定した。

③交通量等安全に必要な箇所に随時啓発看板を設置する。

読書機会の取り組み

「読書通帳」準備開始

本年度の方針で、子どもから高齢者まで幅広く本に触れる場の提供を掲げている。

高齢者や弱視障がい者が利用しやすい大活字本の蔵書数と今後の増冊の考えを伺う。

現在、公民館図書室には、21タイトル、35冊があり、1冊あたりの貸出状況は約6名で、延べ200名が利用している。

増冊について、本年度は20冊の購入の見込みである。利用向上に向けて、町広報やホームページ等で周知していく。

児童生徒の読書意欲向上のため、「読書通帳」の取り組みについて伺う。

読書活動は、子どもが人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものと考えている。

児童生徒の読書意欲向上のため、「読書通帳」の取り組みについて伺う。

「読書通帳」は、利用者が借りた本のタイトルや作者名等が記録されるものである。

「読書通帳」は、今年度公民館図書室に導入する図書管理システムとともに整備することになり、児童生徒や一般町民の本を借りる機会が増すことを期待している。

将来的には、学校図書館と連携し借りた本の記帳も可能にしたいと考えている。

図書室の運営を支えている「図書室ボランティア」の取り組みについて伺う。

「図書室ボランティア」は、読書活動の推進と公民館図書室の利用促進を図ることを目的とし、平成25年より活動している。現在、大人2名と中学生1名が登録している。今後は年2回開催する「図書まつり」などで、ボランティアの大切さを周知し、登録者の発掘に努める。将来的には登録した子どもを中心に、図書司書の資格取得に向けた環境づくりに取り組んでいく。



中村 仁志 議員

ふれあい児童館前の歩道整備について

道路用地の確保が可能なかを含め検討する

ふれあい児童館前の町道には一部歩道があるが、庶路学園から児童館に通う子どもたちが通る明治通りから児童館までには歩道が無い。車の通行量も多く危険なので歩道整備が必要と思うが考えを伺う。

明治通りから児童館までの西庶路東2条通りの歩道未整備区間は、学校の移転により児童館を利用する児童のルートが変わったことから、歩道整備の必要性については理解している。

過去にも検討したが、歩道を設置するための道路用地の取得や建物の移転補償など、課題があり断念した経過である。

庶路学園からの子ども通路となることから、今一度、道路用地の確保が可能なのかを含めて検討したい。



ふれあい児童館前の町道

流産や死産を繰り返す不育症について町として助成できないか

北海道の助成の中で十分対応できる

厚生労働省の推計で約140万人に上る不育症患者がいると言われている。妊娠しても流産や死産を繰り返す不育症について、保険が適用されない検査費用を助成することにより、患者の経済的、精神的な負担軽減への重要な一歩となるが、町として助成できないか伺う。

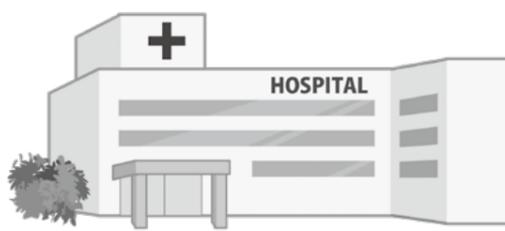
不育症とは、2回以上の流産、死産、早期新生児死亡（生後7日以内）の既往がある場合と定義されている。

原因の80%が胎児の偶発的な染色体異常と言われているが、流産を繰り返す場合には、その他に夫婦の染色体異常、妻側の要因として子宮の形態異常、内分泌代謝異常、凝固異常などがある。

助成制度は現在、北海道で実施している不育症治療費助成事業があり、不育症の検

査・治療に要した費用に対して、1回の検査・治療につき10万円を上限額として助成している。釧路管内では、助成事業を開始した平成29年から令和2年までの4年間で、16名の利用実績があり、全ての回の検査・治療費の申請額が助成の上限額10万円以内に収まっている。

なお、4年間における本町の申請はない。対象の方がいた場合においても、北海道の助成の中で十分対応できると考えている。





中河 敏史 議員

問 64歳以下のコロナウイルス感染症の対応は

答 ワクチンが確保され次第接種する

問 わが国において新型コロナウイルス感染症が終息する気配がない。北海道は全国的にみても感染率が高く、対策が求められている。白糠町において65歳以上のワクチン接種が始まり今後の効果が期待されるが、現在、若年層にも感染が広がり、早急な対策が必要だが対応は。

答 高齢者のワクチン接種は、6月27日に2回目の接種が終了する。64歳以下の接種は、6月中に意向調査を行い、ワクチンが確保され次第希望者に接種を開始する。

問 64歳以下のワクチン接種は何歳からか。また、ワクチン接種の開始時期は。

答 12歳以上を対象として関係機関と協議し、7月下旬を想定している。

問 全体を含めた今後の対策は。

答 接種を希望する町民に全力で対応していく。町が接種しているワクチンの感染予防効果は95%と有効性が極めて高く、ワクチンの必要性は認識している。そのうえで、ワクチン接種の有無にかかわらず、引き続き、マスク着用、手洗い・消毒の励行、不要不急の外出の自粛、会食時の人数制限、人と人との接触を抑えるなど、一人一人の日々の行動制限が感染防止につながることを啓発していく。安心して生活できるように、健康を守るため健診事業等を実施したい。

問 個人情報の問題もあるが感染情報の開示が必要であると思うが。

答 北海道で開示の仕方を検討している。

問 コープさっぽろ白糠店の今後は

答 閉店する

問 コープさっぽろ白糠店の閉

店を検討する報道がなされた。今後、多くの問題が生じると思うが。

答 コープさっぽろ白糠店は毎年5000万円程度の赤字が続いている。コープさっぽろとしては、長年にわたる不採算店舗であり、今後も慢性的な赤字状態を打開できないことから、閉店を決定したとのことである。「トドック」は今後も継続して事業展開し、従業員については配置替えで対応。店舗については、テナントの募集、見つからなかった場合は除去するとの考えである。

問 テナントが見つければよいが、見つからなければ今後の移住者にも影響が考えられる。

答 既存の方々も含め色々な展開を検討していく。

問 企業誘致の現況は

答 取り組みを進めている

問 町内の人口減少に歯止めがかからないが、解決に向けた

努力が必要である。要因として雇用の場があげられる、企業誘致の現況は。

答 人口減少に歯止めをかける一番の対策は、雇用の場と働く人の確保である。既存の働く場を守ることはもちろんのこと、本町の恵まれた自然と豊かな地域資源を活用しながら、新たな産業誘致や雇用の創出に取り組んでいくことが重要である。企業誘致にあたっては釧路白糠工業用水道の利用推進の観点からも、地場産業に関連する水型の企業誘致をはじめ、第一次産業と再生可能エネルギーを融合した生産活動に対する起業化や企業立地に主眼を置いて取り組んでいる。

問 一次産業を含めた企業誘致を推進していくため、横との連携を図るセクションをもうけては。

答 企業誘致は企画財政課が担当しているが、情報収集等は、経済課と連携して行っている。

問 生きがい事業団の活動をもっとPRできないか

答 十分連携を図り取り組んでいく

問 高齢者生きがい事業団は、草刈作業が中心となっている。事業団には色々な資格を持っている方々がいるので、幅広く活用されるよう事業内容をもっとPRするなど、町として取り組みはできないか伺う。

答 白糠町高齢者生きがい事業団は、現在26名の会員により、住宅や私有地の草刈りをはじめ、造園・緑化作業、施設の清掃など幅広く活動しており、町も公園や町有地の草刈りのほか、令和2年度からは、高齢者や障がい者世帯の除雪サービスを委託している。

現状は、丁寧な仕事が町民に評価され、受託実績も多く、安定的な事業運営が行われている。事業内容のPRは、生きがい事業団において、毎年チラシを町広報に折込配布しているが、町としても十分連携を図りながら取り組んでいく。



問 生き活きしらぬか事業の対象を広げたい

答 事業を総合的に判断していく

問 生き活きしらぬか事業のうち、対象が70歳、75歳以上になっているものについて、対象年齢を引き下げ、多くの高齢者の方々が、サービスを受けられるようにできないか伺う。

答 現状においては、生き活きしらぬか事業はそれぞれ順調に事業推進しており、対象年齢の引き下げは考えていない。今後は、アンケート調査などにより、対象年齢を含めて総合的に判断し取り組みを考えていく。

問 5月だけで12人が死亡している。この中には、町サービスを受けられないで、亡くなっている人もあることから、一年でも早く65歳から対象にすることが必要ではないか。

答 現状では、この対象年齢の設定は、適正と考えている。

問 和天別地区の町道補修整備について

答 計画的に舗装改修していく

問 国道38号から坂の丘・下和天別を通り河原に至る町道は、物流の大型車両の交通が増加しているが、路肩の舗装が沈下しているなど、危険な箇所もあることから補修する考えはないか伺う。

答 白糠音別線、中央幹線は、和天別地区を連絡する重要な幹線道路である。路肩の沈下箇所は確認しており、通行には大きな支障がないものと認識しているが、交通安全上、定期的なパトロールと維持補修を行い、老朽化が著しい部分は、計画的に改修していきたい。



澤原 孝行 議員



山吉公德 議員

問 認知症対策はどう進めるのか

答 関係機関と連携して進めていく

問 2012年の高齢社会白書では、全国で認知症患者数が462万人、65歳以上の高齢者の7人に1人（有病者15%）の割合であったのが、2025年には、約700万人、5人に1人になることが見込まれている。本町も近い将来総人口が減少し、高齢者人口の割合は増加するものと予測される。現在における認知症患者数の実態と、今後の対策について伺う。

対策として高齢者を対象とした予防教室を充実し、要介護状態となっても、住み慣れた地域で暮らし続けることが出来るよう、ケアシステムの構築を推進していく。

問 「地域包括ケアシステムの構築」をどのようにして推進していくのか。

答 医療・介護・予防・住まいや生活支援が包括的に確保される体制が、地域包括ケアシステムである。具体的には、介護予防や日常生活支援総合事業を実施した地域支援事業の充実、在宅医療や介護の連携事業である包括的支援事業の充実に取り組み、構築を推進していく。

問 「認知症サポーター」は、どのような組織で、どのような活動をしているのか。

答 サポーターは何か特別なことをするのではなく、認知症を理解した認知症の人への応援者である。まず温かい目で見守ることから始めることが必要であり、認知症サポーターの養成講座の推進を図る。

問 必要性が高まる後見人について



タターの養成を行うとともに、サポーターが幅広く活動できる機会づくりの創出に向けて取り組んで行く。

答 養成講座の推進を図る

問 認知症・精神障がいや知的障がいなどの理由で、判断力が著しく低下している方々を支援（主に財産管理）するため、この制度があると理解している。

答 本町における成年後見制度の利用状況と、今後の利用推進の取り組みについて伺う。

問 成年後見制度には、認知症など精神上的障がいにより判断能力が不十分であるため契

約等の意思決定ができないなどのために、事前に後見人を決めておく「任意後見制度」がある。

問 本町における成年後見制度の利用状況は、65歳以上の高齢者4名となっている。市民後見人は5名が選任され活動されている。

答 今後の利用推進の取り組みは、業務委託している白糠町社会福祉協議会が周知活動を行っているが、引き続き制度及び相談窓口の普及啓発に努めていただくよう働きかけていく。

問 また、市民後見人の養成講座の実施などにより、制度の推進を図りたい。

答 ささまざまな施設やケアマネージャーなどを活用して、普及を図ることだが、その計画はあるのか。

問 社会福祉協議会に委託をして進めているのが中心だが、今後は制度の普及啓発や相談窓口についても、さまざまな機関との連携を図りながら周知していく。



鎌田民子 議員

問 子ども均等割軽減の拡充について

答 町独自の軽減はない

問 厚生労働省は、2022年4月から未就学児に限って国民健康保険税均等割の5割を公費で軽減することを決めた。子育て世帯の経済的負担軽減の観点から、未就学児に限らず、町独自に対象を拡大させてはどうか伺う。

答 均等割保険税は、大人・子どもに関係なく、一世帯当たりの国保加入者の人数に応じて、負担を求むる制度である。現行制度では、低所得世帯に対しては、所得に応じた軽減措置が講じられている。

それに加え、このたびの法改正により、子育て世帯の経済的負担軽減の観点から、未就学児に係る均等割保険税の5割を、国2分の1、都道府県4分の1、市町村4分の1で公費負担し、軽減するものとなっている。

子育て支援は子ども全員に等しく支援することを基本と

している。北海道で統一した標準例の策定を検討していることから、現時点では単独での軽減措置は考えていない。

問 対象となる未就学児は何人いるのか、軽減額の試算はいくらか。

答 令和2年ベースで、42世帯58名、68万600円。

問 医療従事者へ町独自の手当の補助について

答 国から全額補填されている

問 新型コロナウイルスワクチン接種は医療機関の協力で日程通り順調に推移している。接種日はすべて、土曜日と日曜日になっており、当然のこととして休みもありません。月曜日から通常勤務となり、負担がかかっていると思う。国から委託料として予算化されていると思うが、一人当りの補助額はいくらか。国とは別に町独自の手当を考へてもいいのではないかと伺う。

答 町内の3医療機関の全面的な協力がなければ到底実現できないものであり、心より感謝申し上げる。

問 ワクチン接種は、週末の10日間にわたり集団接種方式で実施しており、各医療機関からは医師、看護師、訪問看護ステーションの看護師の協力を得て対応している。

答 週末の休日に診療時間外に対応していただくことから、医師1日あたり7万7000円、看護師1日あたり2万7000円、ワクチン接種費用については、休日等の接種1回につき、4,620円で、医師会とも相談し理解をいただいている。

問 委託料も含め、「新型コロナウイルスワクチン接種対策確保事業費国庫補助金」で国から全額補填されるので、町独自の手当はない。



道の駅「しらめか恋問」移転改築及び白糠駅前広場整備事業調査特別委員会

5月6日 ●白糠駅前広場整備事業について

●白糠駅前広場整備基本構想について

担当課から、基本構想の基本テーマ「未来へつなぐ、安心安全な交通居住拠点整備」の4つの整備方針について説明を受けた。

・整備方針

- 1 「公共交通拠点整備」、バスターミナル機能の充実と公共交通機関相互の利便性の向上を図る。
- 2 「住宅拠点整備」、移住・定住や子育て施策を支援する住宅機能の整備を図る。
- 3 「安心安全の拠点整備」、地域住民や施設利用者等の一時避難施設となる防災機能の拡充を図る。
- 4 「賑わい拠点整備」、駅前の新たな賑わいを創出するため、人が集い交流できる空間の創出を図る。

【主な質疑】

問 駅、バスの利用は1日何名か。

答 町営バスターミナルは20名から30名程度。駅の利用者数は平成29年度で82名と聞いている。

問 駅舎の整備に関しても今後の話し合いということなのか。

答 駅舎とバスターミナルを合築することは、基本的にJRと一致している。駅舎が古い建築基準法の適用であるため、増改築が簡単にはいかないなど、課題も出てきている。

産業厚生常任委員会

5月11日 ●移住・定住・空き家・空き店舗対策に関する事

●公共下水道事業特別会計の企業会計への移行に関する事

●空き店舗対策について

担当課から現在の空き店舗等の状況について説明を受けた。

・現在の南通り商店街の状況

店舗数は43件、うち空き店舗が9件と聞いている。

【主な質疑】

問 人口も減り購買力も減っている中での、商店街の空き店舗対策は。

答 事業の継続、将来に向けた投資等に対して、町としても商店の方々の意見を聞き、どのように協力、支援していくかを考えている。

●白糠駅前広場整備事業手法調査業務について

担当課から、想定している民間活力を導入した場合の事業手法、整備運営手法、委託業務内容の説明を受けた。

【主な質疑】

問 事業手法調査業務委託の入札指名業者は。

答 指名委員会が開かれていないので、まだ選定されていない。

●今後のスケジュールについて

令和3年度 事業手法調査業務の実施。

バスターミナルの解体。

令和4、5年度 複合施設に係る基本設計。

実施設計を予定。

令和7、8年度 工期予定。

令和8年度末 完成。

【主な質疑】

問 バスターミナル解体に伴う発券業務は、どういう扱いになるのか。

答 仮設のバス事業所を設置し、これまでと同様に業務を行うことになっている。

委員会・協議会の活動

総務文教常任委員会

4月15日 ●防災・減災対策に関する事

●海岸地域の津波避難対策について

住民の避難プラン、災害時要援護者対策計画、ハザードマップの作成について、担当課から説明を受けた。

・**住民の避難プラン**では、東日本大震災以後、津波警報の発表時には、津波指定避難場所や高台にいち早く避難することを周知、啓発している。(10年を経過した今も変わらない。)

自身の身を守る「自助」、地域は自分たちで守る「共助」の取り組みも啓発している。

・**災害時要援護者対策計画**では、高齢者、障がい者の避難対策として、地域の協力体制を確立するため、「ふれあい連絡票」を整備し、消防、警察、町内会などの支援機関に提出するとともに、地域で避難訓練や防災

訓練を実施するなど、官民で一緒に対策を講じている。

・**ハザードマップの作成**では、北海道が津波の浸水想定を公表後、データを精査し、ハザードマップを作成する。秋には広報やチラシで全戸配布できると考えている。

【主な質疑】

問 ふれあい連絡票の登録者数は。

答 本年3月末で2,071人。

問 今まで鉄北、橋北、庶路地域と分けて避難訓練を実施しているが、町全体でやるべき。

答 全体の避難訓練は重要と思うが、最小単位の町内会の動きがとても大事と考えている。

全員協議会

4月27日 ●新型コロナウイルスワクチンの接種事業について

●新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金等について

●新型コロナウイルスワクチン接種事業について

担当課から、新型コロナワクチンの供給状況、65歳以上の方の意向調査、接種会場及び日程の説明を受けた。

●新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金等について

「新型コロナウイルスワクチン接種事業」に係る予算の内訳として、接種体制整備に係る物品購入、接種券発送費用、接種記録システム改修費用等について担当課から説明を受けた。

【主な質疑】

問 意向調査の回答率、接種希望の割合は。

答 回答率が87.6%。接種希望は90.6%。

問 副反応で具合が悪くなった場合の対応は。

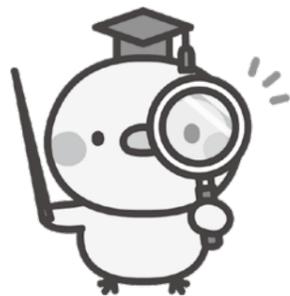
答 経過観察の場所を接種会場に設ける。重篤なアレルギー反応、アナフィラキシーショックの救急手当分として、エピペンと言われるアドレナリン製剤を用意している。



～聞きたい・知りたい

議会の仕事～

議会の仕事調査隊



一般質問とは？ 一問一答とは？

今回は、一般質問を調査

問 第2回定例会で9人の議員がしている「一般質問」とは何？

答 町長をはじめ執行部に對して、議員の日常活動で感じた点を聞いたり、町民の意思を反映させたりするためにを行うのが一般質問です。

年4回の定例会において、議長の許可を得て「町の一般事務」について質問することができます。

※質問者は、議長が定めた期間内に、その趣旨を文書で通告することになっています。

問 「緊急質問」や「質疑」とは？

答 一般質問は、議員がある程度自由なテーマで質問できることにたいし、緊急質問とは、緊急を要するときに、その他真にやむを得ないと認められる時に議会の同意を得てする質問のことです。

問 一般質問は、議員であれば誰でもできるの？

答 議員数が多い政令市や特別区などでは、一人の議員が年に1回までしかできない議会もありますが、白糠町議会では、議長の許可により、年4回の定例会で行うことができます。過去10年間で一般質問が一番多かった時の人数

は、令和2年第4回定例会で、10人でした。

問 一般質問のやり方は？

答 議会改革の一環として、平成21年第2回定例会より「一問一答方式」で行っています。

議員が一つの質問をしたら執行部が一つ答えるので、聞いている人にとっては、やり取りがわかりやすくなりました。

また、議員の質問回数には制限はありませんが、時間には制限があり、答弁を含め90分以内となっています。

通告した質問について、90分以内であれば、質問は何回行ってもかまいません。

問 90分の制限時間は、どうやって計っているの？

答 議会事務局の職員がストップウォッチで計っています。残り時間5分になるとパネルで質問議員にお知らせします。



質問席から一問一答

全員協議会

5月31日 ●新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について

●元気しらぬか応援券事業（第四弾）について

担当課から、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなか、経済活性化と町民皆様に元気と活力をとりもどしていただくことを目的とした「元気しらぬか応援券事業（第四弾）」の説明を受けた。



議会改革・活性化特別委員会

7月1日 ●議員定数・議員報酬・政務活動費、「町民と議会の懇談会」について
8日 ●委員長の辞任について

●議員定数・議員報酬・政務活動費、「町民と議会の懇談会」について

4月発行の「議会だより」に掲載し、町民の意見を募集したところ、1件の応募があり、その内容をもとに意見交換するとともに、「町民と議会の懇談会」の日程を協議する予定でしたが、協議できず閉会した。

●委員長の辞任について

7月1日、福地委員長から辞任届が提出されたが辞任には委員会の許可を得なければならないため、その内容を協議した。

辞任届の記載内容は容認できないが、今後の会議に支障をきたさぬよう辞任を許可し、新たな委員長（立石委員長）を互選した。

総務文教常任委員会

7月8日 ●学校給食費会計の公会計化に関すること
●白糠小学校移転計画に関すること

●学校給食費会計の公会計化に関すること

担当課から、平成29年度からの学校給食無料化事業の実施以降、教員による給食費の管理業務はなくなり、公会計化と同様の効果が得られている。公会計化を国が推進する中、更なる会計の透明性や安定的な給食を実施するため、令和4年度より導入予定であるとの説明を受け内容を協議した。

●白糠小学校移転計画に関すること

担当課から、白糠地区義務教育学校開校準備委員会の取り組みの状況と義務教育学校への移行にかかわって、庶路学園の小中一貫教育の成果について説明を受けた。

【主な質疑】

問 給食費を分納などにより納めている事で、給食費無料化の対象になるのか。

答 令和3年度からは無料化の対象になる。

問 滞納繰越金の取り扱いはどのようになるのか。

答 滞納金は、公会計に移行せず、引き続き私会計において管理し、令和6年度末までの徴収を考えている。

その他の委員会活動

●産業厚生常任委員会 2月16日、3月3日
●議会運営委員会 5月27日、6月2日、9日、21日、7月2日

●道の駅「しらぬか恋問」移転改築及び白糠駅前広場整備事業調査特別委員会

5月31日、6月10日、21日、7月5日
●広報広聴調査特別委員会 7月6日、12日



広報の目



◀桜並木の様子



今年も満開。上庶路、寺澤さんの千本桜が4月28日開花し、5月7日には満開でした。毎年その見事さに感動、来年も今年以上に咲き誇りますように、白糠で一番の桜並木に来年は是非、足を運んでみてはいかがでしょうか。 撮影：坂本 勝雄 広報広聴調査特別委員会委員



あとがき

6月27日、本町での65歳以上の高齢者への新型コロナワクチン接種が、トラブルもなく終了したことに安堵しています。私も接種しましたが、痛みもさほどなく、筋肉痛程度で無事終わることができました。会場では、医療関係者や町職員がてきぱきと任務に当たっていることに感動しました。大変ありがとうございました。

今のところ、希望者への接種は順調ですが、接種ができない人もいます。また、辞退者や関心のない人もいますとのこと。感染の終息に向けて、集団免疫獲得へつなげる高い接種率の達成が大事だと思います。

ともあれ、今後、64歳以下の接種もトラブルなく、一人でも多く接種されるよう期待し、経済活動の回復、そして、平穏な日常生活に戻るようになっていただきたい。(中村)



今号の表紙



今号の表紙は、5月7日に白糠高校1年生が、地域への理解や関心を深めるため初めて実施した「地域探求活動」のようすです。

今回は、議場で役場職員の講話をとおして、町の現状や公務員の仕事などを学びました。

今後の白糠高校生の活躍に期待しています。